

川西町役場跡地利活用計画検討委員会

第4回委員会 議事録

- 1 日 時 令和2年12月8日(火) 午後7時～午後8時30分
- 2 場 所 川西町中央公民館 201会議室
- 3 委 員 渡部 桂 委員長 加藤 健吉 副委員長 大河原 壽男 委員  
山口 徳夫 委員 渡部 亨 委員 平間 良則 委員  
本間 芳弘 委員 佐藤 光弘 委員 羽根田 浩子 委員  
横山 伸一 委員 嶋貫 諭 委員 奥村 正隆 委員
- 4 欠席委員 遠藤 佐智子 委員 佐藤 千恵美 委員
- 5 町出席者 事務局7名

<議題・審議内容>

1 開会

司会(事務局)による開会。

2 委員長あいさつ

3 協議

事務局より前回出された遊具の設置及び町道の拡幅に係る意見に対する検討の結果を報告。

【質問・意見】

- 第2分庁舎前のコンクリートと錆びたトタンの塀が残ることになる。土地の所有者の所有物だということだが、景観を考えて撤去してもらえないか。  
→ 町だけの判断で撤去出来ないの、所有者の方と協議したい。
- 景観を考えるとこの場所だけでなく地域全体を見渡してということになると思うが、今後検討してもらいたい。
- 敷地の外周を回れるような遊歩道の整備は検討されるのか。  
→ 前回の検討委員会で、管理の面でも敷地の外周は回れるスペースがあるといいという意見をいただいた。設計の中で可能な限り検討していきたい。
- 遊具に関しては、施設内に設置を検討するという事でお願いしたい。町道の拡幅について、費用の検討はしたのか。  
→ 費用の検討は行っていないが、用地買収となれば分筆でなく、全筆の買収という話もあると思われる。
- 将来的には、周辺環境の整備も必要になってくると思う。その際にまた検討していただきたい。

事務局より、川西町役場跡地利活用計画（案）について説明。

【質問・意見】

- 噴水広場を親水広場としたのは大変いい。小松地区地域振興協議会の検討委員会の中でも噴水は整備費用やランニングコストがかかるのではないかという意見が出ていた。置賜地域内にないものということで検討したようだが、他との差別化も望まない声もあった。設計の際には動線の確保など小松地区地域振興協議会と十分に協議を行って欲しい。
- 前回の検討委員会で意見のあった屋外のトイレや手洗い場の整備については、設計の際に検討するのか。  
また、大ホールの開放などは対応してもらえるのか。  
→ 屋外のトイレや手洗い場については、事務局としても必要性を十分に理解したので、設計の中で検討していきたい。  
大ホールの開放については施設の運用にも関わるので、管理者となる小松地区地域振興協議会とも協議をしながら検討していきたい。
- テラスは施設とつながっているのか。  
→ 施設に附随する形で整備を考えている。黒い枠が整備する位置や大きさを示すものではない。
- 施設の黒い線が、施設の場所や大きさを示すと誤解しやすいので、点線にしてほしい。  
→ 点線に修正する。
- この委員会で出た意見が設計に十分反映されるように、出た意見については最大限計画書に盛り込むようお願いしたい。
- 親水広場は噴水を含めて検討されるのか。  
→ 親水広場については、主に子どもの遊び場と考えており、噴水を否定したものではなく、噴水も選択肢の一つとして設計の中で検討していく。
- 噴水という文言を残した方が良いのではないか。
- 今のままでは、噴水が含まれるか分からないが、水を使った何かということになるのか。  
→ 計画の時点では、噴水に限定せずに設計の中で検討していきたいと考えている。
- 親水広場では、具体的に何が整備されるか分からない。このような抽象的な内容では計画としてダメなのではないか。  
→ 町としては幅広く可能性を残したままで、設計の中で検討して参りたいと考えている。
- 噴水は整備費用、ランニングコストがかかり、維持管理できるのかと思っていた。今回、親水広場という言葉が変わったが、結局噴水が整備されてしまうのではないかと懸念している。

- お金がかかるから整備しないのか、お金をかけてでも整備するのか、そういった判断の方向性すら見えない。
- 設計の段階でコスト等により整備できるもの出来ないものが精査されると思う。そういう意味では、大きい括りで親水広場と記載した方がいいのではないかと。噴水と記載してしまうとコスト等で出来ないとなった場合に何も整備されなくなってしまう。親水広場という形で含みを持たせた方が良くはないかと思う。事業費が大きく、縮減に努めてもらわなければいけないという思いもあるが、個人的には子どもが遊べる水辺をなんとか整備してもらいたい。
- 親水広場とするにしても、水をどこから調達するつもりなのか。小松地区は水路も少なく、地区内に水の流れがない。仮に小川を整備するとした場合、水の流量が少ないと藻が張る等の問題も出てくる。
  - 噴水と一言にいても、人によってイメージが異なるのかなと思う。事務局としては、子ども達の遊び場という視点は大変重要であると考えているため、現時点では親水という表現で様々な可能性を残しつつ、設計の中で様々な物を広く検討していきたい。
- 今回この場で決まったものは、今後策定までの間に変更がないのか。
  - 今月、議会への説明を予定しており、議会での意見等を踏まえ修正する可能性はある。最終的には来年の2月に完成版を議会に報告し、策定としたい。
- グリーンインフラと親水広場は同じものを指すのか。
  - グリーンインフラの機能を備えた親水広場となる可能性もあるが、グリーンインフラについては、花壇や植栽の中に機能を持たせて親水広場と分ける可能性もある。いずれにしても、にぎわいづくりと防災という異なる視点で捉えている。
- 屋外のトイレや水場については計画の中に明記した方が良くはないか。
- 屋外のトイレや水場については、災害時にも活用できると思うので、防災機能の所に記載してはどうか。
  - 御意見を踏まえ、屋外のトイレと水場については18ページ内の防災機能かその他建設にあたり考慮する事項の部分に追記する。
- 噴水については、人によっては、大規模なものを想像すると思う。誰もが同じものをイメージできるように詳細まで計画に載せてほしい。
- 計画としてあまりに漠然としていて、実際に整備されたときに、イメージしていたものと全く違うものが作られてしまうのではないかと思う。噴水も大規模なものは維持管理が大変なだけで、横や下から水道が出るようなもので十分ではないかと思う。
  - また、議会に報告して策定ということだが、そこで大きく変わってしまうと何のための検討委員会だったのかわからなくなる。
- この検討委員会での検討の経過が設計の中で最大限反映されるように、計画書だけでなく議事録等も来年度に引き継いで欲しい。

- 設計の段階には、この検討委員会の委員全員が関われるわけではないと思うので、この検討委員会で出た意見が最大限反映されるように、設計の検討の際には渡部委員長に参加してもらおうと良いのではないかと。
- 何か協力できることがあれば協力したい。
- どうしても利活用計画の中ではある程度の自由度を持つということが必要であり、設計の中で、この委員会の意見が活かされるような仕組みづくりが大切なのだろうと思う。  
また、設計にあたっては改めて小松地区地域振興協議会と意見交換を密にしながら進めていくことが大切だと思う。

#### 4 その他

今後のスケジュールを事務局より説明。

令和2年12月 町議会に策定状況の報告

令和3年1月 社会教育団体への説明

2月 町議会に策定を報告

渡部委員長より挨拶

この計画書を改めてみると志も高く、理想も高いことが書かれている。これからの地方を考えていくと、やはり、このような器も大事だが、町民一人一人が自分で何ができるのかということを考えることが大事になる。そうした町民の主体的な活動を助ける施設になると思うので、この場所がにぎわうことを想像しながら、楽しみに待ちたいと思う。

#### 5 閉会

司会（事務局）による閉会。